

2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

はじめに

激動の平成時代が 30 年でその幕を下し新しい元号の年に入ります。本会も創立以来 85 年の変遷を経てきましたが、平成 24 年 1 月に内閣総理大臣認証の公益社団法人としてリ・スタートして早や 2 年後には 10 年目を迎えます。今後も厳しい環境が予想されますが、せめて 10 周年の時には真に公益社団法人に相応しい体制が実現できるよう万難を排して仕上げたい。

前年度の成果と反省

1. 執行部では、従来の「温故新生」のスローガンに「視座を変えて」の合言葉を付加し、諸課題を「根本的にみる」「多面的・多角的な角度からみる」「長期的な視野でみる」そのような姿勢で運営してきました。

①局部制実施による適切な運営体制の構築

重要項目については年度目標を設定して四半期毎に進捗管理を行い、執行役員である副会長が局長となってより責任を明確にしてきた。何が出来・何が出来ていないのかを明確にして効率よく運営できた。

②各地区連合会役員・各会の会長先生との意見交換実施。課題の共有化が出来た。

特に地方の先生方と、膝を交えて意見交換できたことは良かった。

③長年懸案の会館建設問題については、身の丈に合った方向で、耐震強化・エレベーター設置、会員がより快適にご利用いただけるような会館に改修出来た。先輩から引き継いだ会館建設積立金も残余金を残すことができ、来年度以降に新たな公益目的事業等の特定引当資産として活用出来ることとなった。

2. 積み残した課題と検討

①吟詠普及推進事業・再入会促進キャンペーン・指導者養成講座（東明未来塾）開講等の継続対策を講じてきたが、会員減少に歯止めを掛けるまでに至らず、厳しい状況が続いています。今後も諦める事無く、会員拡大に情熱をもってあらゆる対策を講じます。

②幼少年・学生会員の底上げを図るべく、定款・細則等の変更も視野に入れながら、検討を行う。

③定年問題についてはこの 2 年間議論を続けてきたが未だ答えは出ていない。いま課題の高齢化社会であるからこそ、若手の育成はもとより、年齢のみに捉われず活用できる人材は大いに活用する新たな枠組みを作っていかなければならない。

2019 年度基本方針

会 訓

『一生初心』

スローガン

『温故新生』 (視座を変えて)

重点施策

1. 会員増員対策の更なる展開

長期的にみて会員減少に歯止めを掛ける妙薬は無い。ここは今一度全会員がパワーを発揮して「ひとり一声運動」を展開し周囲に呼び掛けて行ってほしい。

勿論、従来実施してきた諸策は継続強化して推進する。

- ① 会員獲得の為の徹底した推進活動（本部と各会が共に手を携えて運営する、第3次増員対策委員会を立ち上げる）
- ② 各地区で開催する、吟詠普及推進事業において、一般の方々が参加しやすく詩吟を楽しんでもらえる内容を企画する。
- ③ 再入会促進キャンペーンの継続
- ④ 学生会員対策（18歳以上準会員としてのカウント等）
- ⑤ 高齢者対策（関西吟詩のオリジナル吟詠歌謡の製作と提供）
- ⑥ 若年層対策（取り組みやすい詩吟を普及する。吟詠歌謡や詩吟を挿入した童話や民話の製作等）

2. 定年問題（代議員制度の見直し）

現状の会員年齢構成を基に将来を予測すると高齢化は一層進展するが、一方では健康年齢も一段と進み単に生年月日だけで枠組みをおこなうのは矛盾が大きくなる。

代議員・理事の選出基準を抜本的に見直す時期に来ている。

積極的に若手の登用を進め、且つ現定年制で優秀な人材を失うことの無いよう、新たな枠組み制度の構築に知恵を絞りつつ、この一年で方向付けをしていきたい。

3. 局部制の一層の充実

引き続き、「指導局」「管理局」「広報局」の三体制が、傘下各部を横断的・機能的に運営して課題を明確に、より効率よく、効果的に活動し解決策を見出していく。

4. 経費削減策

新会館建設投資により、減価償却費の負担が増えてくるのは避けられない。従来以上に経費節減に勉め、無駄を廃し健全経営を目指していかねばならない。

以上

2019 年度事業計画

自:2019 年 4 月 1 日～至:2020 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会 (一般来聴公募)

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又地区事情に合わせて、新指導者の研修を組み込む。

① 2019 全国吟詠大会 in 大阪 (仮称)

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を、さまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努める。又、幼少年・青年層の育成の為発表の場を作り、吟詠の普及継承を図る。

- ・2019 年 10 月 19 日 (土) 大東市総合文化会館サテライトホール
約 1,100 人参加予定 (内一般会員他 300 人)

② 新春全国吟詠大会

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、懇親を深める。

- ・2020 年 1 月 12 日 (日) 太閤園ダイヤモンドホール
約 250 人参加予定(内一般会員他 30 人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会 (一般来聴公募)

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂く。

- ・吟詠普及研修会(新教本)兼推薦師範講習会・・・2019 年 6 月 9 日 (日)
約 450 名参加予定(内一般会員他 150 人) エーリック(尼崎)
- ・九州大会 2019 年 6 月 16 日(日) 約 250 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・岡山大会 2019 年 8 月 18 日(日) 約 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・京滋福井大会 2020 年 2 月 9 日(日) 約 200 人参加予定(内一般会員他 80 人)
- ・東海大会 2020 年 2 月 16 日(日) 約 400 人参加予定 (内一般会員他 100 人)
- ・和歌山大会 2020 年 2 月予定 約 200 人参加予定 (内一般会員他 70 人)
- ・西中国大会 2020 年 3 月 15 日(日) 約 200 人参加予定 (内一般会員他 80 人)
- ・四国大会 2020 年 2 月 23 日(日) 約 200 人参加予定(内一般会員他 80 人)

(2) 各公認団体等の記念大会等への後援

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・小中学での課外授業への積極的参加

- ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
- ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。

(5) 電磁的公報、機関誌発行

① 吟詠普及の為のテレビ放映の検討

マスコミを通じての吟詠推進活動の実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする努力をする。

- ・ サンテレビ・毎日ラジオ他、地区のTV・ラジオ「CM」の放映など。

② ホームページでの吟詠普及

- ・ ホームページのリニューアルの実施
 - より見易くする為、案内表示をすっきりする
 - 教場紹介コーナーの設置の検討
- ・ 漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
- ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。

③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）

- ・ 吟詩日本を時代に即応する為のリニューアルを実施する。
- ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・ 「吟詩日本」発行（185号、186号、187号、188号）

(6) 教本発行（一般販売）

① 教本冊子頒布

| | |
|-----------------------------|---------|
| ・ 新教本初級編（既刊） | 1冊（20題） |
| 新教本 A その2（既刊） | 1冊（60題） |
| 新教本 A その3（既刊） | 1冊（60題） |
| 新教本 A その4（既刊） | 1冊（60題） |
| 単行本 A61～A67（既刊） | 4冊（23題） |
| 新教本 B その1（新刊） | 1冊（60題） |
| 新教本 B その2（新刊） | 1冊（60題） |
| 教本律詩編 B1～B3（既刊） | 3冊（90題） |
| 教本古詩編 C1～C3（既刊） | 3冊（65題） |
| 教本和歌 D1・俳句 D2・新体詩(近代詩)D3 合本 | 1冊（62題） |
| 教本副読本(アクセント入り) | |
| 四句詩編(既刊) | 1冊 |
| 六・八句詩編(既刊) | 1冊 |

| | |
|----------------------|----|
| 長詩編(既刊) | 1冊 |
| 新教本縮刷本 A (四句詩編) (新刊) | 1冊 |
| 教本縮刷本 B (律詩編) (既刊) | 1冊 |
| C (古詩編) (既刊) | 1冊 |
| 点字テキスト新 A その1 (既刊) | 1冊 |

「和歌・俳句・新体詩(近代詩)」縮刷本の検討

- ② 「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)
- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本 (トレミファの譜面付)

(7) 海外移動教室の開講

- ・台湾研修 (台北他での漢詩の世界探訪及び地元の会との交流)
2019年10月21日～24日 予定参加者 約30人

(8) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上に資する。

- ・地区連合会や公認団体の集合体の主催を進める。
- ・時期回数は未定

(9) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施 (事業毎に呼びかける)

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 2019年11月10日(日)
エーリック(尼崎) 予定参加者約800人 出吟者約300人
- ② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会
2019年12月8日(日)
現代劇場(高槻) 予定参加者約800人 出吟者約210人
- ③ 全国競吟大会予選大会
 - ・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会
 - ・岡山地区大会・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会
 - ・和歌山地区大会・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与する。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する。

- ① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定する。

2019年7月1日 昇段免許授与

2020年1月1日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施する(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 2019年6月16日(日)
広島試験場 2019年6月16日(日)
名古屋試験場 2019年6月16日(日)

③ 昇格試験及び研修会実施(総本部試験場)

師範 2019年7月21日(日)
準師範 2019年7月21日(日)
師範代 2019年7月28日(日)

(昇格試験に合格したものには、9月1日付で、9月8日の東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う

- ・ 吟詠普及推進研修会(新教本)兼推薦師範講習会(本部)
2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
約450人参加予定(内一般会員他150人)
- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
2019年6月16日(日) 約250人参加予定(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
2019年8月18日(日) 約200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
2020年2月9日(日) 約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ・ 吟詠普及推進研修会東海(浜松)地区大会
2020年2月16日(日) 約200人参加予定(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
2020年2月23日(日) 約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会
日時未定 約200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
2020年3月15日(日) 約400人参加予定(内一般会員他100人)

② 指導者研修会

- ・ 推薦師範講習会 2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
- ・ 本部研修会(2020年度師範昇格試験課題詩講習)
2019年9月1日(日) エーリック(尼崎)
吟詠6題 和歌3題 約400人参加予定
- ・ 本部研修会(2020年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)
2019年11月24日(日) エーリック(尼崎)
律詩8題 絶句10題 約400人参加予定
- ・ 新教本講習会
1) 2019年6月9日(日) エーリック(尼崎)
八句詩3題 約400人参加予定

2) 2019年9月8日(日) 大東市市民会館

八句詩3題 約500人参加予定

③ 吟道大学講座の開講

- ・2020年2月1日～2日 パナソニックリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修。 約150人参加予定

④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設

漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修

○総本部コース

- ・開催回数

| | |
|---------------|----------------|
| 2019年5月25日(土) | 2019年7月27日(土) |
| 2019年9月28日(土) | 2019年11月30日(土) |
| 2020年1月25日(土) | 2020年3月28日(土) |

- ・受講者数 50名

○地方コース

- ・西中国地区

| | |
|---------------|---------------|
| 2019年7月20日(土) | 2019年8月10日(土) |
| 2019年9月21日(土) | |

受講者数 30名以上

- ・東海地区(静岡・愛知・三重含) 3回/年

| | |
|---------------|---------------|
| 2019年10月6日(日) | 2019年11月2日(土) |
| 2019年12月5日(日) | |

- ・四国地区 3回/年

- ・九州地区(福岡・鹿児島) 3回/年

| | |
|----------------|----------------|
| 2019年10月6日(日) | 2019年11月23日(土) |
| 2019年12月22日(日) | |

⑤ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄

年12回(前期、後期に分けて)

総本部 会議室 予定参加者数 延 約600人

⑥ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

4回/年 予定参加者数 400人

⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・2カ月1回 午後1時～4時00分迄

年6回 総本部 会議室 予定参加者数 延 約400人

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

- ・指導局指導部会 10回以上/年
- ・指導局教養部会 10回以上/年
- ・指導局教本作成部会 10回以上/年
- ・秀詠グループ吟詠研究会 6回以上/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・広報局広報部 10回/年
 - ・広報局ホームページ委員会 10回/年
- 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。
- ・広報局企画部 10回/年
 - ・青年部 10回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

- ・ 作詩添削委員会

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ①漢詩詳解
- ②誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③作詩便覧 宮崎東明編
- ④作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ① 新体詩伴奏曲編 (新作)
- ② 和漢名詩選(1)・(既存)
- ③ 和漢名詩選(2)・(既存)
- ④ 和漢名詩選(3)・(既存)
- ⑤ 和漢名詩選(4)・(既存)
- ⑥ 和漢名詩選(5)・(既存)
- ⑦ 和漢名詩選(6)・(新作)
- ⑧ 本部指導者研修会収録編
- ⑨ 伴奏曲集(和歌・俳句・新体詩)・(既存)
- ⑩ 国歌・関西吟詩会歌伴奏編・(既存)
- ⑪ 吟詠歌謡・(新作)

(3) DVDの頒布

- ① 李白
- ② 坂本龍馬
- ③ 勝海舟
- ④ 西郷南洲
- ⑤ 高杉晋作
- ⑥ 吉田松陰
- ⑦ 義経
- ⑧ 天璋院篤姫
- ⑨ 頼朝と政子

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を

交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

2019年7月1日

2020年1月1日

② 昇格資格者への免状の授与(師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

2019年9月1日

③ 特別昇格(上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

2019年9月2日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会
バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 東明祭の開催 | 2019年9月8日(日) |
| (2) 会員増員表彰(個人、支部、会) | 東明祭 2019年9月8日(日) |
| (3) 敬老祝、成人祝 | 東明祭 2019年9月8日(日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施 | 東明祭 2019年9月8日(日) |
| 表彰 吟功章 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別昇格 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別功労賞 | (宗 帥) |

4. その他の事業(法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

(1) 定時総会の開催

2019年6月1日(土) エーリック(尼崎市)

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会、)
- ③ 元老・相談役・参与会議
- ④ 局部会(管理局総務部・管理局財務部)
- ⑤ 懇談会
 - 青年部員懇談会
 - 都府県連合会代表者会議
 - 都府県連合会連絡協議会
 - 公益業務改善委員会

- ⑥ 東明未来塾運営委員会
- ⑦ 特別審議委員会
- ⑧ 第三次増員対策委員会
- ⑨ 定年問題検討委員会
- ⑩ その他特別検討委員会

以上